

教振のスヌメ ②

文責：市教育振興運動
推進協議会事務局

◆ 教育振興運動の始まり ◆

「教育振興運動」とは、「学校、家庭、住民などが総ぐるみで、地域の教育課題の解決に自主的に取り組む」ことを目指した岩手県独自の教育運動です。

それでは、この『教振』（「教育振興運動」の略称）はいつから始まったのでしょうか。

実は、大変長い歴史のある運動です。昭和30年代後半、本県の児童の学力は、全国に比べると低い水準でした。そこで、当時の県の教育長・故工藤巖氏が、岩手の児童・生徒の学力を地域ぐるみで向上させようと考え、「教育振興運動」を提唱しました。

そして、昭和40年、県内各地で学力の向上のための読書運動や、子どもに勉強部屋（勉強机）を持たせる運動などが、主に学校を中心として始められました。中には、「地

域ぐるみで子どもを立派に育てよう」という高いレベルの住民運動にまで発展させた地域もありました。

◆ 県の教育環境に大きく影響 ◆

運動が定着した昭和40年代後半からは、「児童・生徒の教育成果の向上」という重点課題を、「学力の向上」（知）、「健全育成」（徳）、「健康と安全」（体）の3つの観点に分類し、運動を広域化して、市町村単位で行うようになりました。

以後、この運動は、教育水準の向上、子どもの健全育成、家庭や地域の教育力の向上など、県の教育環境の整備・充実の面で、大きな役割を果たしてきました。



健康推進係、25年度新体制でスタート
(保健師の担当地区が下の表のとおり変わりました)

(前列左から) 畠山亜希子、高橋稔耶、松尾淳子、田口洋二、高橋悦子、(後列左から) 工藤千歳、田村順子、渡辺夕夏、種市恵美、伊藤千晶

氏名	職種	担当地区	
松尾淳子	保健師	全地区	
高橋悦子		平舘・寺田	
工藤千歳		田頭	
渡辺夕夏		松尾	
種市恵美		安代	
伊藤千晶		大更	
田口洋二		大更	
田村順子		管理栄養士	全地区
高橋稔耶		事務	
畠山亜希子		こころの相談員	

風しんの定期予防接種があります。時期を逃さずに接種を済ませましょう。

風しんの定期予防接種が1歳児、年長児は、麻しん・風しんの定期予防接種があります。時期を逃さずに接種を済ませましょう。

風しんが流行中。予防を忘れずに！

保健のひろば

☎・内線1176 市役所健康福祉課



子育てNEWS

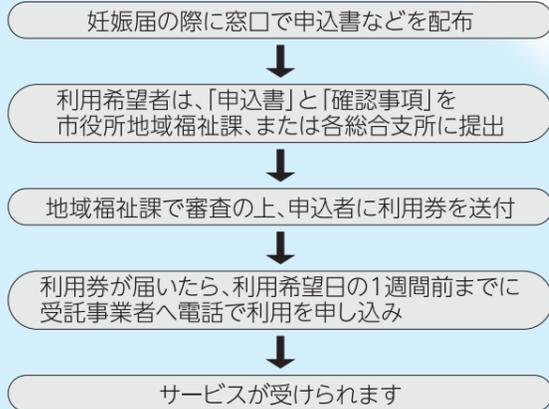
☎・内線1151 市役所地域福祉課

子育てヘルパーの派遣を行っています

市は、子育て支援ヘルパー派遣事業を実施しています。産前・産後の妊産婦は、日常生活で負担や不安が大きくなります。この時期に、昼間の家事などの援助を受けられない家庭へ、訪問による支援を行い、子育ての手助けをするのが、事業の目的です。内容は、次のとおりです。

- 料金 無料
- サービス内容 家事援助（炊事、洗濯、掃除、買い物）や育児補助、病院や健診への付き添いなど

■利用方法



利用対象者	利用期間	利用回数と時間
母子手帳交付後の妊婦がいる家庭	母子手帳交付後から出産予定日まで	6回とし、1回当たり2時間以内
1歳未満の乳児がいる家庭	1歳になる前日まで	
3歳未満の2人以上の多胎の子がいる世帯、または3歳未満の子がいるひとり親家庭	双子以上の出産やひとり親世帯などの場合は出産後3年まで	1歳になる前日までに6回。1歳から2歳になる前日までに6回。2歳から3歳になる前日までに6回

No.1 楽しいこと見いっつけた 寺田公民館

今回から、公民館で行われている活動などをシリーズで紹介していきます。興味がある内容を見つけ、参加してみたいかをご紹介します。

寺田公民館は、付近に寺田小学校や寺田保育所があり、西根寺田の中心部に位置しています。また、市西根歴史民俗資料館が隣接していて、資料館では、県指定文化財「瑞花双鳳八稜鏡」などの貴重な資料を見学することもできます。



毎年七時雨山に登山(24年6月3日)

業を展開していますが、特に人気のある事業は、成人講座「自然を歩こう」です。この講座では、6月から10月にかけて、中級以上の5つの山に登ります。毎回参加者が多く、キャンセル待ちが出るほどです。25年度も、6月2日(日)の七時雨山登山を皮切りに、自然を楽しむ講座を開きますので、興味のある方は、ぜひ参加してください。詳しくは、寺田公民館(☎77・2024)まで。